Nonparametric Econometrics 2024

Yasuyuki Matsumura*

2024年12月15日

1 教科書

- Li, Q. and J. S. Racine. (2007) Nonparametric Econometrics: Theory and Practice, Princeton University Press.
 - 2024 年度の計量経済学 1, 2 (by 西山慶彦先生) で輪読しています。シラバスはこちらからどうぞ:https://www.k.kyoto-u.ac.jp/student/g/ec/support/syllabus_detail?no=5934
 - タイポが多くて、読み進めるのがやや面倒くさい.
 - Errata にない間違いも多数.
 - 過去には、下記のトピックコースでも使用されていたらしい.
 - Bruce Hansen, ECON 718 NonParametric Econometrics (University of Wisconsin, Spring 2009). https://users.ssc.wisc.edu/~bhansen/718/718.htm
 - 末石直也,セミ・ノンパラメトリック計量分析(京都大学,2014年度後期). https://sites.google.com/site/naoyasueishij/teaching/nonpara?authuser=0
 - 各先生方のレクチャーノートは一般公開されている(2024年12月 現在).

2 参考文献:英語のテキスト

- Hansen, B. E. (2022) *Econometrics*, Princeton University Press.
 - 19, 20, 21 章でノンパラメトリック推定や regression Discontinuity の話を扱っている.

^{*}M1 Student at Graduate School of Economics, Kyoto University. yasu0704xx @ gmail.com.

- Horowitz, J. L. (2009) Semiparametric and Nonparametric Methods in Econometrics, Springer.
 - セミパラメトリック推定の話が一通りまとまっている.
- van der Vaart, A. W. (2000) Asymptotic Statistics, Cambridge University Press.
 - 数理統計学の超ド定番の教科書なので、詳細は省略.
 - Chapters 24, 25 がノンパラ,セミパラを扱っている.

3 参考文献:日本語のテキスト

- 久保木久孝, 鈴木武 (2015) 『セミパラメトリック推測と経験過程』朝 倉書店.
 - セミパラというより Empirical Process の本っぽい. Glivenko-Cantelli とかでてくる.
- 清水泰隆 (2021) 『統計学への確率論, その先へ:ゼロからの測度論的 理解と漸近理論への架け橋』内田老鶴圃.
 - 測度論をひととおり勉強できる. 優収束定理等の積分と極限の扱いを勉強するのに役立った.
- 清水泰隆 (2023) 『統計学への漸近論, その先は: 現代の統計リテラシーから確率過程の統計学へ』内田老鶴圃.
 - コアノメの副読本みたいな感じで読んでる. ノンパラは5章.
- 末石直也 (2015) 『計量経済学:ミクロデータ分析へのいざない』日本 評論社.
 - ノンパラは9章で軽めに扱っている.
 - パラメトリックの枠は出ないけど、分位点回帰、打ち切りモデル、 Binary Choice モデルなどなど、ノンパラ・セミパラで推定したい モデルの基礎がひととおり説明されている.
- 末石直也 (2024) 『データ駆動型回帰分析:計量経済学と機械学習の融 合』日本評論社.
 - ノンパラ:3章, セミパラ:4章.
- 西山慶彦, 人見光太郎 (2023) 『ノン・セミパラメトリック統計解析 (理論統計学教程: 数理統計の枠組み)』共立出版.

- ややこしすぎる証明は元ペーパーを参照する形でカットされていて、読み進めやすい気がする.

4 参考文献:論文たち

• きりがないので省略. 上記テキストの参考文献リスト等を見てください.